

岡山県内の中小企業（製造業）における景況状況について

岡山県と（公財）岡山県産業振興財団では、県内の中小企業（製造業）における景況状況について、アンケート調査を行いましたので、調査結果の概要をお知らせします。

記

1 調査対象 岡山県内の中小企業者 780 社に対して調査を行った。

2 調査方法 調査票によるアンケート方式

3 調査時点 平成 25 年 5 月 1 日（水）

4 回収企業 385 企業（49.4%）

5 集計結果の概要

（1）稼働状況

稼働状況について、稼働率 80%以上の企業が前回より 1.1 ポイント減の 69.8%となっており、前回より増加している。

（2）景況判断

岡山県内企業の景況について、各設問の DI（前年同月比で「良い」と答えた企業から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値）を見てみると、「売上高（生産高）」は、前回より 13.8 ポイント増の -25.4 ポイントとなっている。「受注量」は、前回より 13.2 ポイント増の -25.6 ポイントとなっている。また、「受注単価」については、前回より 1.9 ポイント減の -30.1 ポイントとなっている。「資金繰り」については、前回より 2.8 ポイント増の -18.1 ポイントとなっている。「収益性」は前回より 1.2 ポイント減で -33.5 ポイントとなっている。「雇用状況」は、前回より 2.1 ポイント増の -4.9 ポイントとなっている。「設備投資」に関しては、前回より 1.1 ポイント減の -35.0 ポイントとなっている。「売上高（生産高）」、「受注量」、「資金繰り」、「雇用状況」の設問で、DI の上昇がみられる。

（3）今後の見通し

今後の見通し DI としては、「3ヶ月先の生産見通し」が前回より 3.3 ポイント増の 7.0 ポイント。「6ヶ月先の生産見通し」は、前回より 4.9 ポイント増の 17.1 ポイントとなっている。どちらの設問においても、DI の上昇がみられる。